

認知症になっても希望を持って 自分らしく暮らすためのヒント

ひとりで抱え込まないで。地域にはあなたを支える人がいる。

認知症の診断を受けても、暮らしが終わるわけではありません。これまでの生活を大切にしながら、前を向いて歩いていくためには、正しい知識と、身近な支えを知ることが大きな力になります。本シンポジウムでは、医療・介護・地域の専門職、そして実際に認知症とともに暮らす方々が、それぞれの立場から「希望を持って自分らしく暮らすためのヒント」をお伝えします。これから親の介護が始まる世代の方にも、安心につながる情報をお届けします。

行政説明「認知症のご本人の声から考える札幌市の認知症施策」

シンポジウム「認知症になっても希望を持って
自分らしく暮らすためのヒント」

14:00 行政説明 西区保健福祉課保健支援係 係長 高田美希さん

14:20 シンポジウム

シンポジスト1 国立病院機構

北海道医療センター脳神経内科 医師 杉村容子さん

シンポジスト2 ご近助テラス札幌

ケアマネジャー 秋葉隆章さん

シンポジスト3 札幌認知症の人と家族の会

事務局次長 鈴木高雄さん

14:50 休憩

15:00 質疑応答

15:20 まとめ

日時：令和8年3月21日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)

会場：西区民センター 区民ホール(琴似2条7丁目)

申込み：不要・直接ご来場下さい

問合せ：札幌市医師会西区支部

 011-611-4181

西区在宅ケア連絡会

 info@zaitaku-care.info